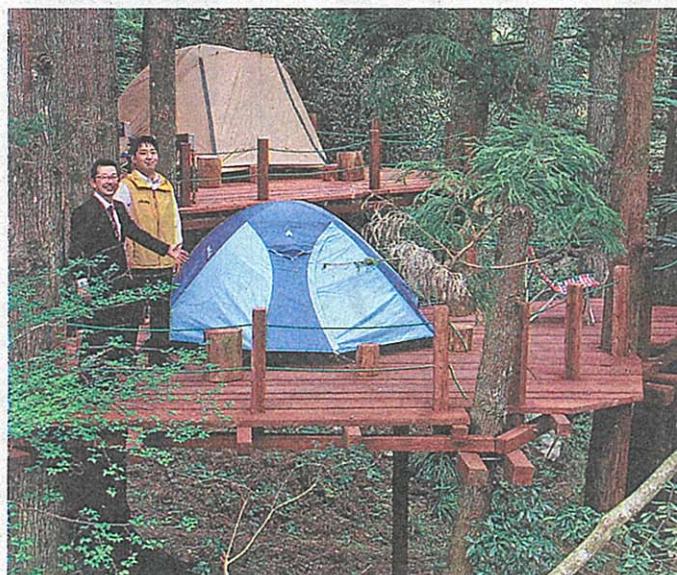


掛川・明ヶ島キャンプ場

携帯電話も通じない掛川市の山間部にある「明ヶ島キャンプ場」（同市炭焼）が28日、リニューアルして3年ぶりにオープンする。「穏やかなる事を学ぶ」がテーマ。月明かりと星空の下、虫や鳥の声、川のせせらぎを楽しむ大人の空間と、あえて不便さを売りにしている。（赤野嘉春）

(赤野嘉春)



「ウッドデッキサイト」を紹介する松山拓也社長(左)と山田珠一社長(右)=掛川市炭焼で

不便さを魅力に 「自然楽しんで」

大人の空間 きょうりリニューアルオープン



きのうの
夕刊
キャッヂ

たくに樂しんではし」と 設業「山田」（山田珠一社
話す。 四千一百六十平方㍍の敷地には、コテージ六棟やドッグラン、炊事場などを備える。ひときわ目を引くのは、溪流沿いにせり出した「ウッドテックサイト」（一基）と、高台に設置した「ステージサイト」（六基）。利用者が持参したテントを張つたり、ミニティー・ブルを置いて食事をしたりする。キャンプ場では全国的にも珍しいという。電灯は最小限に抑えて星空が見やすいように工夫し、外部との連絡は管理棟の有線電話一台だけという。

同キャンプ場は、市が一九七八年度に整備。指定管理などで運営していたが、三年半前の台風被害で休止した。放置状態の解消に名乗りを上げたのが地元の建

利用期間は四月～十一月。 施設案内や料金などは、ホームページ「炭焼の杜キャンプ場」で検索できる。問い合わせは同キャンプ場＝電0537（25）2507へ。